

8-4-6 業務研究発表会WG

1. WG 設置主旨

本 WG は、建設コンサルタントの継続教育の一環として平成 13 年度より開催されている「建設コンサルタント業務研究発表会」を円滑に運営するため、令和元年度に設置された。

業務研究発表会は、「業務における優れた成果や自主研究開発成果の発表を通じて、互いの技術の研鑽を図ること」を目的としており、本 WG はその具体化に向けた検討・準備を担うものであり、今回で 25 回目の開催となった。

2. 主な活動の記録

毎年 9 月の業務研究発表会開催に向け、インフラストラクチャー研究会と共同して、主に以下の活動を実施した。

(1) ワーキングの開催（計 4 回の開催）

メール審議や Web/会場開催で協議を行った。

主な会議の開催概要を以下に記す。

a) 第 1 回：一次審査会（6 月 19 日）

論文の応募総数は 113 編であった。一次審査を行って、32 編の論文を選定した。

b) 第 2 回：準備会（8 月 22 日）

発表会当日のプログラム、進行シナリオの確認、WG メンバーの役割分担等を協議した。

c) 第 3 回：反省会（10 月 30 日）

開催結果として、アンケートを含めた各種データを集計・分析・考察した概要を共有し、次年度に向けた課題を整理して、協議した。

d) 第 4 回：次年度開催方針協議（2 月 9 日）

今年度の業務研究発表会の課題に対する改善策を協議するとともに、次年度の開催方針及びスケジュール等について協議した。

(2) 業務研究発表会の開催

インフラストラクチャー研究会および（一社）建設コンサルタンツ協会の共同主催による「第 25 回建設コンサルタント業務研究発表会」二次審査会を令和 7 年 9 月 18 日（木）、赤坂インターシティコンファレンスにて開催した。

審査員と発表者のコミュニケーション確保の観点から、開催会場にて審査員、発表者の対面参加による発表、授賞式及び懇親会を行った。また、これまでのオンライン配信による聴講者増大効果の観点から、発表及び授賞式についてオンラインライブにて配信した。

厳正なる審査の結果、「河川・水防災」、「交通・道路・橋梁」、「都市・マネジメント」、「建設環境・新領域」の 4 分野 30 編より、最優秀賞 1 名、優秀賞 3 名、特別賞 4 名が選考され、同日開催会場にて表彰式を開催した。

オンラインライブ配信であったこともあり、聴講者の延べ人数は 3,282 名となり、前年度を上回る発表会となった。また、開催結果は協会機関紙「Consultant」に掲載した。

3. 次年度の活動について

26 回目となる次年度の業務研究発表会は、本年度の経験と課題を踏まえ、以下の方針で実施する。

- ・審査員と発表者が交流（意見交換）する場を設けることは重要であるとの見解から、本年度と同様、開催会場にて審査員、発表者の対面参加とし、懇親会を開催する。
- ・発表会および質疑応答は、本年度と同様、オンライン配信を行い、幅広い参加を確保する。
- ・発表者のモチベーションアップの観点から、次年度は発表者が指名する連名者または社内関係者に、会場で発表会や懇親会に同席頂く。コンサルティング・エンジニアの技術研鑽という目的をより充実させ、働き方改革にも呼応した「誰もが参加できる業務研究発表会」を目指す。次年度の主な活動計画は、以下の通りである。

- ・発表論文 一次審査会（6 月中旬）
- ・発表会開催に向けた準備会（8 月下旬）
- ・令和 8 年度 業務研究発表会（9 月 14 日）
9:30 開始 ～ 18:30 終了（懇親会含む）
- ・業務研究発表会の反省会（10 月中旬）
- ・令和 9 年度発表会開催方針協議（2 月中旬）

（業務研究発表会WG WG 長 平山 博）